

# 路面性状調査支援業務

## 仕 様 書

令和 7 年 11 月

兵 庫 県

## 路面性状調査 仕様書

本仕様書は、路面性状調査における、調査機器及びソフトウェアの賃貸借契約に関して、賃借人である県と賃貸人との間において、機器導入及びソフトウェアの詳細な仕様を定めるものである。また、調査結果の出力業務について定めるものである。

### 1. 品名 調査機器（スマートフォン等）、調査用アプリケーションライセンス

### 2. 数量

#### 【構成内訳】

項番	名称	単位
1	調査機器（スマートフォン等、6車両分、取付部品含む、取付手間含む）	式
2	調査用アプリケーションライセンス	式

### 3. 調査機器・調査用アプリケーションライセンス（規格） 下記の条件を満たすこと

#### （１）調査機器（スマートフォン等）

①対象機器については、走行しながら車両に搭載され、10m 間隔で連続静止が記録できるものとする。撮影時間帯は昼間を基本とし、沿道状況が明確に視認できる明るさ、天候状況のもとで行うこととする。

②撮影した静止画の品質は沿道状況と路面が明確に評価できるものとする。沿道状況のうち、標識の表示内容の確認、舗装に発生している比較的大きなひび割れとわだち掘れが確認できる程度とし、下表の仕様とする。

項目	撮影仕様
撮影間隔	10m
画角	ドライバー視点に近いもの 魚眼レンズによる撮影ではないもの
画像フォーマット	カラーJPEG 形式

③調査にアプリケーションのダウンロードが必要な場合は、調査用アプリケーションをダウンロードした状態で納入すること。

④調査期間中のスマートフォン等の通信料等の経費はすべて受注者で負担する。

⑤調査機器の取り付けに必要な器具及び給電に必要な器具については合わせて納入するものとする。また、給電については調査中または調査後に給電可能なものとする。

⑥調査機器等の取り付けに専門的な技術を要する場合は、受注者が費用負担する。調査機器等の取り付けに位置については、計測を最優先するよう設置する。

⑦なお、⑥の取り付けを行う場合は、別紙１の土木事務所・事業所で実施し、道路パトロール開始前に取り付けを行うものとする。

#### （２）調査用アプリケーション

①点検対象車線は、県管理道路上り線及び下り線、走行車線及び追い越し車線等の全車線を対象とする。下記延長はすべて車線延長とする。

- ・ ひび割れ調査 L=約 8,800km
- ・ わだち掘れ調査 L=約 8,800km
- ・ IRI 調査 L=約 8,800km
- ・ 区画線調査 L=約 8,800km

②点検区間において、道路の進行方向における連続静止画像を撮影でき、路線別、区間別、及び上下線別に整理できるものとする。

③調査項目はひび割れ、わだち掘れ、IRI、区画線とし、スマートフォン等による車載搭載機器型を活用するものとする。調査は「点検支援技術性能カタログ（国土交通省）」に掲載されている技術のうち繰り返し計測が可能な技術を活用すること。

（参考）点検支援技術性能カタログ

（国土交通省）[https://www.mlit.go.jp/road/tech/hosou\\_all\\_nonsort.html](https://www.mlit.go.jp/road/tech/hosou_all_nonsort.html)

受注者は、ひび割れ、わだち掘れ、IRI、区画線調査については、4項目のうち3項目以上が自社調査等により、Ⅲ判定検出率80%以上のものを選定する。

測定項目	活用技術
ひび割れ	4項目のうち、3項目以上が自社調査等により、Ⅲ判定検出率80%以上のものを選定する。
わだち掘れ	
IRI	
区画線	

④道路管理者所有の車両に設置し、通常パトロール時に調査することが可能なものとする。

⑤調査項目についてはそれぞれ以下の通り評価すること。

・ひび割れ評価

「舗装点検要領」（国土交通省道路局：平成28年10月）「付録-3 損傷評価の例【アスファルト舗装】」を参考に、車載搭載機器により得られた10m間隔のデータをAI等で評価する。

判定基準	判定
ひび割れ率 0～20%程度	損傷レベル小（青色）
ひび割れ率 20～40%程度	損傷レベル中（橙色）
ひび割れ率 40%程度以上	損傷レベル大（赤色）

・わだち掘れ評価

「舗装点検要領」（国土交通省道路局：平成28年10月）「付録-3 損傷評価の例【アスファルト舗装】」を参考に、車載搭載機器により得られた10m間隔のデータをAI等で評価する。

判定基準	判定
わだち掘れ 0～20mm程度	損傷レベル小（青色）
わだち掘れ 20～40mm程度	損傷レベル中（橙色）
わだち掘れ 40mm程度以上	損傷レベル大（赤色）

・IRI評価

「舗装点検要領」（国土交通省道路局：平成28年10月）「付録-3 損傷評価の例【アスファルト舗装】」を参考に、車載搭載機器により得られた10m間隔のデータを加速度データ等で評価する。

判定基準	判定
IRI 値 0～3mm/m 程度	損傷レベル小（青色）
IRI 値 3～8mm/m 程度	損傷レベル中（橙色）
IRI 値 8.0mm/m 程度以上	損傷レベル大（赤色）

・ 区画線評価

区画線の評価ランクについて、「路面標示と交通安全」（（一社）全国道路標識・表示業協会）を参考に、車載搭載機器により得られた 10m 間隔のデータを AI 等で評価する。なお、区画線は車線の両側（右側、左側）にあり、右側、左側の線種分けて出力できるものとする。

判定基準	判定
劣化が見られないまたはわずかである	ランク 4 以上 損傷レベル無（灰色）
路面の露出が見られる	ランク 3 損傷レベル小（青色）
形状が不鮮明	ランク 2 損傷レベル中（橙色）
形状、機能がほとんどない	ランク 1 損傷レベル大（赤色）

⑥ひび割れ、わだち掘れ、IRI、区画線、MCI の調査結果はアプリケーション等で確認できるものとする。アプリケーション等での確認期間は業務の始期日から令和 8 年 3 月 31 日（火）までとする。

4. 貸与資料：調査・解析・帳票出力を行ううえで必要なデータは貸与する。

5. 契約期間：業務の始期日～令和 8 年 3 月 31 日（火）

6. 納入場所 兵庫県土木部道路保全課（兵庫県神戸市中央区下山手通 5-10-1）

7. 調整等の条件

その他、本仕様書に定めのない事項で疑義が生じた場合は、担当職員と協議し、その指示に従うこと。

（３）調査結果の出力業務（帳票出力）

本業務には、調査用アプリケーションによって取得された路面性状データをもとに、路線番号、路線名、調査車線（上り、下り）、起点緯度、起点経度、終点緯度、終点経度（世界測地系で小数点以下 8 桁。単位：度）自距離標、至距離標（整数 単位：メートル）、ひび割れ、わだち掘れ、IRI、区画線、MCI の調査結果を単位区間（10m）に分け、県管理道路上り線及び下り線、走行車線及び追い越し車線等の全車線（L=約 8,800km）を出力すること。出力形式については、データ形式によるものとする。